



NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ニュース第27号 (H26.6.15)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 日本列島は北海道を除いて梅雨に入りましたね。そのとたんに大雨にみまわれた地域もあるのではと思います。被害がなかったことをお祈りします。今日 15 日はワールドカップサッカーの日本戦ですので、多くの方がテレビの前におられるのではと思いつつニュースを作成しています。

会の経過報告

一つお伝えするのを忘れていましたが、NPO 法人日本医学歯学情報機構から、私たち ORMZ の活動に賛同して支援を行っていただけるとの申し出があり、理事会に諮り、5 月 9 日「覚書」を交わしました。具体的には、自動販売機を皆さんの関係する場所で設置していただいた場合に、その売り上げの 5% をザンビア医療援助資金として納入してもらえるとというものです。自動販売機メーカーとの手続きはすべて日本医学歯学情報機構が行っていただけるとの内容です。また手続きが終了した際にはご協力のお願いをさせていただきますので、よろしくお祈りします。

また、5 月 22 日、登記事項の変更手続きに法務局へ出かけてきました。資産の変更と役員任期終了(26 年 3 月 31 日)に伴う変更(実際は全員継続ですが)のための手続きを行ってきました。

さらに、現地ルアノ地区の飲料水確保がとても厳しい状況であること、これまで賛助会費やご寄付をたくさんいただいていること等から、当初の事業計画では 1 基設置を予定していた深井戸掘削を 2 ヲ所に変更することとし、5 月 26 日理事会、6 月 1 日臨時総会を開催しその旨承認していただきました。現在井戸掘削のための準備を進めています。

皆様のご支援のおかげでより充実した活動ができることを感謝申し上げます。

最後にもう一つ、NHK さんから 8 月放送予定の地球アゴラ (BS 放送です) に、山元先生への出演依頼が届きました。ご協力することで準備を進めています。具体的な放送日程等が決まりました際にはご連絡したいと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

26 事業年現地活動報告 (三重大医学生生の研修報告)

今年も三重大医学部学生が 4 人現地に来られ、巡回診療に参加されました。感想文が寄せられましたのでご報告します。(ご本人の了解を取っております。また内容は、そのまま掲載しています)

山元香代子先生

先日はルアノ地区の回診にご同行させていただきありがとうございました。また、朝早くの出発に関し、運転手を手配、マラリアの薬の手配をしていただけたので全員が無事に日本に帰ることが出来ました。ありがとうございました。

先日のルアノ地区の回診についての感想(レポート)が全員分揃いましたので送らせていただきます。写真も送らせていただきます。

山元先生に同行でき、かけがえの無い経験を得ることが出来ました。4人を代表して改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

・岩田賢治

今回、山元先生のザンビアでの医療活動に同行させて頂きました。今回の目的地はルアノという場所で、TVの中で見かみたことのないような激しいオフロードを抜けた先にある、山奥の村です。そのような場所ですので、病気になったからといってすぐに医師に診てもらうことは大変難しい状況にあります。現地に着したのは昼前頃で、到着した時には山



元先生の診察を受けたい患者さんが長蛇の列を作っていました。この日の患者さんの総数はおよそ 150 人程であったように思います。これだけの数の患者さんを、山元先生とヘルスワーカーさんのお二人でご飯も食わず診察されていらっしやいました。私達は乳児・幼児の体重測定や、マラリア検査の手伝い、紙カルテの整理などの仕事を手伝わせて頂きながら、先生の医療活動を見学させて頂きました。検査を手伝わせて頂く中で分かったのですが、患者さんの多くはマラリアで苦しまれていました。日本ではあり得ませんが、アフリカでは非常によくある病気なのだということを再認識させられましたし、住む環境で医療を受けられない患者さんがこんなにみえるのかということも同時に感じ、衝撃を受けました。それまでは書物で読む程度であまり実感が湧いていなかったのだと思います。実際にそういった患者さんに触れることで将来日本だけでなく国際的にも様々な医療に関わる問題を考えていく責任があるといまでは思いません。村の方々は明るく気持ちがおおらかな方が多く、笑顔がとても印象に残っています。私からみれば大変な環境の中で毎日を送られているのだらうと思っていましたが、そういった気持ちの明るさはこれから自分が生きていく中でも本当に大切なことなのだとは強く感じました。今回このような貴重な機会を頂けて本当に感謝の言葉もありません。この経験を生かし、将来一人の医療者として社会に貢献できるよう精進します。ありがとうございました。



・大津聡太

訪問診療に同行させていただきありがとうございました。ルアノ地区での実習は、ザンビアでの臨床実習において、とても印象深いものとなりました。

舗装されていないでこぼこ道を車で移動し、診療所も屋根がついている部屋がある、というくらいの劣悪な環境のなかでの医療は、日本での医療しか知らない自分にとってとても衝撃的でした。

朝から夕方まで、山元先生の診察を待つ人々の列は途切れることなく、先生はとても忙しそうに働いていらっしゃいました。

村人1人1人のカルテをつくり、自分の私財を使って検査キットや薬などを購入し、医療を行っている先生は、医師としてとても尊敬できる姿でした。

ルアノ地区での実習はとても実り多いものとなりました。ありがとうございました。

・平松拓

ルアノ地区での実習にご同行させていただきありがとうございました。

ルアノ地区の訪問診療をするにあたって越えなければいけない一番大きな壁は、そこへたどり着くまでの道でした。ランドクルーザーの力をフルに発揮しなければ乗り越えられないような劣悪な道を、車内で頭をぶつけながら長時間移動しなければいけないのでつくところには同行させていただいたほとんどのメンバー体力のほとんどが奪われているような状況でした。

ルアノに到着後は患者がどんどん押し掛けてきて、診察の列が途切れることがない中、ほとんど休憩をせずに山元先生は診察をされていました。その姿はとてもかっこよく、憧れました。私たち学生も検査の手伝いをさせていただき、日本ではすることがないであろうマラリアの検査ができたことはいい経験でした。

また、ザンビアでの実習のほとんどがルサカ（首都）でおこなっていたので、ザンビアの田舎の様子も見れたこともとてもいい経験になりました。清潔な飲み水すらなく、十分な医療もうけることが出来ていない、そんな地域を実際に見て体感できてよかったですと思います。遊ぶものがなにもなく、ゴム手袋すらおもちゃにする子供たちも印象的でした。実際に経験することによってより親身に考えることが出来るようになったと思います。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

・横井寛之

今回はどうもありがとうございました。初めにルアノの診療所についたときテレビで拝見させていただいた診療所と同じで、自分もここに来たんだなーと感動しました。診療を始める前に腹ごしらえでいただいたバナナはとてもおいしかったです。僕らは最初にカルテと患者の番号を照らし合わせる作業を手伝ったのですが、カルテの順番がバラ



バラだったり、欠損していたりして大変でした。そのあと妊婦健診での体重計のはかり方が正しいかを見て、小児の体重を測る手伝いをしました。若い母親がとても多く、先生にも説明していただきましたが悲惨な現状があるのだと思いました。次にマラリアの検査をさせていただきましたが、その陽性率の高さに驚きました。エイズの陽性率が高いので緊張しましたが、こういった検査をさせていただく機会

